

■Track01.プロローグ

お前だな？

父上の言っていた契約結婚の相手と言うのは。

噂は耳に入っている。随分と活躍しているそうじゃないか。

僕には到底及ばないがな。

まったく父上め、余計なお世話を……。

僕は、武の道へ進み剣を振るのが性に合っていると言うのに……。

女は男と結ばれ子を授かるのが幸せなんて、

前時代的な考えだ。

だが……。

要は子を孕めば良いのだろう、余計な気など起こすなよ？

僕は一切、お前に特別な感情など抱かん。

お前が僕を孕ませることは許すが、

子を産めばこの関係は解消だ。

父上も満足するだろう。

余計な気持ちは剣の腕を錆びさせる。

更に功績をあげたいのなら、

恋愛感情などと言うのを芽生えさせなことだな。

あくまで僕たちの関係は、契約上のみ。なのだから。

薄着の僕を目の前にしただけで、

その下品なちんぽを立たせているようじゃ、

先は思いやられるがな。

まあいい。

ベッドに移動するぞ。

ここで喋っていても仕方がないだろう。

なんだ？今日は挨拶に来ただけ？

そんなものはいらぬ。時間の無駄だ。

さっさと僕を孕ませろ。

それですべて終わるんだ。

こんなに無意味なことに時間を使いたくないからな。

御託はいい、さっさと来い。

はなから僕は父上から聞いた段階で、

すぐに孕めるよう準備している。

性について微塵も興味なかったが、

これも早く妊娠するため。

鍛錬の合間を縫って書物で学んだんだ。

一回で着床させろよ？

■Track02.拘束されて乳首責め勃起我慢

さっそく子作りを始める……。

と言いたいところだが、

まずはその情けないお前のちんぽを見定めねばならん。

あまりにも雑魚なちんぽだと、一発で孕ませれるか不安だからな。

抵抗するな。

そのままじっとしてろ。

まずは乳首に軽い刺激を与えてやる。

カリカリ……カリ。

カリ、カリカリ。

お前はちんぽを触って欲しいだろうが、

思い通りに動いてやらん。

せいぜい乳首でイかないよう、

情けないちんぽで頑張ることだな。

カリカリ、カリカリー。

腹筋に力を入れろ。

柔らかい腹に跨っても乗り心地が悪いだろう？

薄着で密着されると力を入れられないか？

情けない男だな。

乳首を責めながら耳元で囁いているだけだぞ。

この程度でお前のちんぽは感じるのか？

男ならこれくらいで動じるな。

お前は戦地で露出の多い武装の敵に対しても発情するのか？

ちんぽを勃起させて判断力を鈍らせるのか？

そんな様子じゃ命がいくつあっても足りないだろ。

ふん、、言ってるそばから節操なくちんぽを反応させて……。

こんな雑魚ちんぽの男と子作りなど、

父上は何を考えているんだ。

カリカリ、カリカリー。

どうだ？

乳首に感じる刺激にそろそろ慣れてきたか？

カリカリ。

カリカリカリ。

まだまだのようだな。

カリ、カリ。

カリカリ。

カリカリカリー。

乳首を僕の指で刺激されてるだけなのに、

そんなに気持ち良いのか？

みじめな表情になっているぞ。

騎士とは思えないほどたるんだ表情だ。

仮にも功績を称えられた騎士なら、

いかなる時も平常心でいろ。

例えば、こんなこともされてもな。

んう、ちゅっ。

んちゅうっ。

んちゅ、ちゅ。

どうした？なにを動揺している。

最終的には子作りするんだ。

乳首を舐められたくらいで取り乱すな。

んちゅ、ちゅぱっ。

ちゅっ、ちゅば、ちゅうっ。

んちゅう、んちゅ。

無様な声を出すな、聞くに堪えない。

ふぬけたやつだなまったく。

ちゅ、んちゅうっ。

んじゅ、んちゅ。

すぐに感じるような雑魚ちんぽはいらないんだ。

根性を見せろ。

無駄に大きなモノを持っても、

雑魚なら意味がないんだ。

んちゅ、ちゅうっ。

んじゅ、ちゅぱっ。

ちゅぱ、ちゅぱっ。

いいか？

半端な男の子などいらん。

これくらいで勃つ雑魚ちんぽには、

罰をやらねばな。

ふん。

どうした、痛いかな？

ちんぽを握られてるのに気持ち良くないかな？

当然だろう。

これは奉仕ではなく罰だからだ。

些細な刺激で感じる雑魚ちんぽへのな。

どうだ、力を込めて握られるのはキツイだろ。

だがこれは己の雑魚ちんぽのせいだ。

やめて欲しければ小刻みに震えるちんぽを鎮めることだな。

僕はそのまま乳首を責めたり、

耳元で囁いてお前を誘惑する。

だがお前はちんぽを反応させるな。

分かったな？

反応させたら直ちにちんぽを潰す勢いで握る。

……カリカリ。

カリ、カリ。

カリカリー。

……ふん！

言ったばかりだぞ？

ちんぽが壊れてもいいのか？

僕としても子作りが出来なくなるのは困るんだ。

父上がうるさいからな。

壊れる前に刺激になれろ。

取り返しがつかなくなったら嫌だろ？

んちゅう、ちゅ。

んじゅ。ちゅば。ちゅばっ。

んちゅ、ちゅ。

本当にお前は情けないな。

ちんぽを握りつぶされそうな状況で、

よくもまあ発情出来るものだ。

その穢れた心でよく騎士だと名乗れるな。

この僕とお前のような欲にまみれた雑魚が、

同じ騎士として一括りにされるなんて、

とても嘆かわしいな。

んうちゅ、んじゅ。

ちゅううつ、んちゅ。

ふん！

みじめだな。

なすすべなく女にここまでされて、

さぞ悔しいだろ。

んちゅう、んじゅっ。

ちゅぱっ、んちゅ。

ちゅう、んちゅっ。

そろそろ刺激にはなれてきたか？

乳首の快樂より、ちんぽの痛みのほうが強くなってるんじゃないか？

僕の握力で握られてるんだ。

痛くて当然だな。

だがお前……、この痛みに慣れてきてないか？

最初に握った時はちんぽが柔らかくなったが、

今ではガチガチのままじゃないか。

どうしようもない男だなお前。

こんな扱いをされて興奮できるのか？

雑魚どころの騒ぎじゃないだろ。

いい加減にしろよお前。

こんなに雑魚でどうしようもないちんぽ、

大した子種を出せないだろ。

僕はさっさと孕んで父上を黙らせないといけない。

騎士として民を護る誉のために、

僕はこんなことに時間を割くわけにいかないんだ。

人として、女としての幸せに興味などない。

僕は戦いでこそ輝くんだ。

お前も騎士なら分かるはずだ

だからさっさと証明しろ。

お前のちんぽが僕を孕ませることが出来る、

雑魚じゃないちんぽってことを。

僕が納得できるまで絶対に挿入はさせないからな。

男はセックスを好む生き物らしいな。

義務的なセックスとはいえ、挿入が待ち遠しいんだろ？

ちんぽを見てれば分かる。

だったら悔しいだろ？もどかしいだろ？

セックス出来る相手にちんぽを握られていても、

なかなか挿入できない現実は。

んちゅう、ちゅ。

んじゅ。

刺激だけされて、ただ焦らされる。

これはお前のちんぽの問題だ。

自分次第でセックスが出来るんだぞ？

男なら根性を見せろ。

そして、この僕を孕ませて目の前から消えろ。

■Track03.オナホカウントダウン寸止め地獄

んちゅう、んじゅっ。

ちゅうっ、んちゅ。

れろお、ちゅばちゅばっ。

んちゅ。んじゅっ。

ちゅうっ、ちゅっ。

カリカリ、カリカリ。

カリカリカリ。

カリカリー。

カリカリカリ。

ようやく軽い刺激に慣れてきたようだな。

どんなに乳首を舐めても、

耳元で囁いても、

お前のちんぽがみじめに反応しづらくなっている。

だがお見通しだからな。

お前が内心、

はやくちんぽを気持ち良くして欲しい。

おまんこの中で気持ち良くなりたい。

って考えているのは。

まあそう思うのも無理はないだろうな。

こんなに密着されて、

胸もおまんこも体に触れている状態で、

何時間も過ごしてるんだから。

そんな状況でちんぽを反応させてはいけないなんて酷だよな。

雑魚にしてはよく耐えたほうだ。

多少の根性は認めてもいい。

だが、まだ子作りを許すわけにはいかん。

多少根性を見せたところで、

お前のちんぽが雑魚ってことに変わりはないからな。

今からは強い刺激を直接ちんぽに与える。

僕が納得するまで射精を我慢できれば、

おまんこでお前のザーメンを受け取ってやる。

ここまで焦らされれば濃いザーメンが大量に出せるだろ。

きっと一発で孕めるはずだ。

簡単にイケると思うなよ。

子種の無駄打ちなどさせるつもりは毛頭ないからな。

特別に作らせたこのオナホで、

限界までお前のちんぽを快楽で包む。

情けない痴態を晒すのは許容してやるが、

許可なく射精することは認めない。

覚悟して僕にしごかれろよ。

気持ち良いか？

ムズムズしていたちんぽが、

ぬるぬるのオナホに吸い込まれる気分はどうだ？

一定のリズムだからって油断するなよ？

カリカリ、カリカリ……。

カリカリ。

カリ、カリ。

カリカリカリ。

乳首も責めるからな。

気を抜いたらみっともなく射精してしまうぞ？

カリカリ、カリカリカリ。

カリカリ。カリ、カリ。

気持良くてもうザーメン出そう。

だなんて考えてないよな？

そんな情けないこと、絶対に言うなよ？

カリカリカリ、カリカリ。

カリカリー、カリカリー。

乳首気持ち良い、ちんぽビクビクしちゃう。

すぐにイってしまいそう……。

だろ？

お前の考えが手に取るように分かるぞ。

なぜ分かるんだって顔をしているが、

お前の表情を見ればすぐにわかる。

自分では気付かないか？

考えていることが表情に出ているぞ。

情けない顔で思考をさらけ出すなど、

半人前のすることだぞ。

表情を引き締めろ。

男なら、女だからなど関係なく、

騎士なら常に厳格でいなければいけないんだ。

分かったら意識を集中させろ。

この快樂に慣れて自身のちんぽが、

雑魚じゃないと証明してみせろ。

カリカリ、カリカリ。

カリカリカリ。

乳首を同時に責めるのやめて欲しい。

って顔をしても無駄だ。

カリカリ、カリ。

カリ。カリカリ。

お前が嫌がるならもっと執拗にいじってやろうか？

カリカリ、さわさわ。

カリカリカリ、くにくに。

いやらしい手つきでおかしくなってしまうそうか？

またちんぽが節操なしにビクビク反応しているぞ。

オナホ越しでも十分に伝わるほど、

大きく反応しているな。

そんな調子じゃ、子作りに移行できないじゃないか。

しっかりと強い子種を出せると、

態度で僕に示してくれないと困る。

乳首を……。

カリカリ……。

カリ、カリ、カリ。

刺激されながらオナホでしごかれているだけだぞ？

この調子じゃ、挿入した瞬間に射精されそうだな。

そんなみじめなザーメンで妊娠できるとは思えんからな。

最低限忍耐力があるちんぽから出るザーメンじゃないと困る。

カリカリ、カリ、カリ。

カリカリカリ。

カリ、カリ、カリ。

どうしようもなく気持ち良い。

射精我慢なんて無理だ。

今すぐにでも出ちゃう……！

本当にお前は分かりやすいな。

我慢しろ。

どれだけ気持ち良くても、絶対にイクな。

今ここで情けなくイけば、

お前が入れたくてたまらない僕のおまんこはずっとおあずけだぞ。

そんなのお互い損しかないだろ？

だから頑張れ、雑魚ちんぽで必死に快楽に耐えろ。

カリカリ。カリ。

カリ。カリカリ。

オナホでちんぽしごかれるのと、

指で乳首をカリカリされるの、

どっちも気持ち良くておかしくなってしまうそうだな？

ちんぽがどうしようもないくらいビクビクしてるぞ。

それに、さっきより大きくなってるな……。

ちんぽってこんなに大きくなるのか。

オナホが破裂しそうだ。

出したいのか？

みじめに無機質な疑似おまんこに、

ザーメンを無駄打ちしたいのか？

まあ、ここまで随分と我慢したようだしな。

僕が数を数えてやる。

数え終るまで出すな。分かったな？

ふん、そんなに嬉しそうな表情を浮かべるな。

ようやく射精できるのが幸せなんだろうが、

表情に出すな。

もう数えるぞ？

ごー

よん

さん

にー

いち

っと、まだだぞ。

出すなよ？

数え終ってないんだからな。

早く数え終って欲しいなんて思っても無駄だ。

今僕はどこまで数えたか忘れたからな。

よって最初からだ。もう少し耐えろ。

ごー

よん

さん

にー

いーち

……なんてな。

やめた。

言っただろ？

子種の無駄打ちなどさせるつもりは、毛頭ないと。

お前がザーメンを出していいのはこんな疑似おまんこじゃなく、

僕の膣内だけだ。いいな？

■Track04.おっ！？こんなきもちいいのしらないい

さて、いつまで焦らしていても時間の無駄だな。

雑魚に変わりはないが、

ある程度根性があることは認めてもいいだろう。

お前の精液を、僕のおまんこで受け止めてやる。

待ちわびたセックスで嬉しいだろ？

んっ、いざおまんこの近くにちんぽがあると、

少し身構えるな。

このままお前のちんぽを、

僕ので包んでいくぞ。

ちまたではこういう体位を、

騎乗位

とか言うらしいな。

お前のような雑魚ちんぽの男は、

こうして女に主導権を握られても興奮するんだろ？

まったく情けない話だな。

今から挿入するが、

一瞬でみっともない姿をさらすなよ……。

ん、んうっ♡んゝ おっ！？

ゝ おおっ♡

な、なんだこれえっ♡

おまんこがっ♡一気に圧迫されてるっ！？

んうっ、ゝ おっ♡

ちょ、ちょっと待て！

おまんこの中でちんぽをビクビクさせるなっ！

んう♡ゝ おっ♡んゝ おおっ♡

ちょっとの刺激でおまんこが変になってるっ！

な、なんなんだこれはあっ♡

お前、僕の……っ♡

僕のおまんこになにかしたのかっ！？

んう♡おっ♡

ゝ おおっ♡

なにもしてないだっ♡

嘘を言うなっ！

んうっ♡なにもしてなかったらあっ♡

この僕がっ♡

こんな変な感覚に悩まされることはないだろっ！

ゝ おっ♡んおゝ おっ♡ゝ おっ♡

んうっ♡ゝ おっ♡

おおっ♡

な、なんだっ！？

僕のおまんこが雑魚なだけだと！？

バカなことをおっ♡ゝ おっ♡

言うなっ！

ん` おおっ♡おっ♡

くそっ！ただ入ってるだけなのにっ♡

ちんぽがビクビク動くだけで、

おまんこが反応してしまうっ！

んうっ♡おっ♡

な、なんでお前はっ！

平然としてられるんだっ！

雑魚ちんぽの癖にっ♡

ん` おおっ♡` おんっ♡

おおっ♡おっ♡

いい気になるなよっ！

今までの反応、でえっ♡

お前のちんぽが雑魚だということは、

把握しているっ！

まんこを感じるこの感覚にすぐなれてっ、

お前のちんぽをみじめにイかせてうやるうっ♡

んううっ♡おっ♡ おっ♡

ゝ おおっ♡んおっ♡

くそおっ♡

どうして僕がこんな雑魚ちんぽにいつ♡

おっ♡んうっ♡

おまんこっ♡おまんこがっ♡

ゆっくり動いてるだけでっ、

おまんこがヒクヒクしてしまうっ♡

んうっ♡ おっ♡

まだっ……♡全部入れてないのにっ♡

デカいだけの雑魚ちんぽにっ♡

おまんこおかしくされるうっ♡

ゝ おおっ♡んゝ おっ♡

雑魚ちんぽの癖にっ♡

んお♡ゝ おっ♡

な、なんだと？

僕に喧嘩を売っているのか？

ちんぽに跨っているこの僕が、

へっぴり腰だと？

随分とおっ♡ おっ♡

言ってくれるじゃない、かつ♡

んうっ♡んゝ おおっ♡おおっ♡

僕をバカに出来る立場じゃないとっ♡

おおっ♡絶対に理解させてやるっ♡

んおおっ♡おっ♡

ゝ おっ♡おほおっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

今に見ていろっ♡

すぐに根元まで、

おまんこで包み込んで負かせてやるっ♡

んゝ おおっ♡

おっ♡

ど、どうだ……っ！

お前の雑魚ちんぽが、

僕のおまんこにいつ、

全部包まれてるぞっ♡

ま、まいったか？

僕のおまんこにちんぽ包まれて、

我慢できないだろおっ♡ おっ♡

出せ！

情けなく僕の中にザーメンぶちまけて、

一発で孕ませろっ♡んおっ♡ おっ♡

んぐうっ♡んうっ♡

んじゅうっ♡んっ♡

な、なにをおっ♡

ちゅうっ♡んじゅうっ♡

キスして、いいなどっ！

誰も言っていないが？

んうっ♡んじゅうう♡

ちゅうっ♡

んっ、やめっ♡

んちゅっ♡ちゅうっ♡

んじゅうっ♡んじゅうっ♡

キスするなっ♡んうっ♡

んちゅうっ♡んっ、んじゅうっ♡

んじゅうっ♡んちゅう♡

キスされるたびにっ♡

頭ふわふわするっ♡

んうっ、やめっ♡

キスだめっ♡

んじゅうっ♡んちゅうっ♡

ちゅうっ♡んちゅうっ♡

こ、この僕にっ♡

お前みたいな雑魚の唾液をおっ♡

んじゅうっ♡ちゅ、じゅるっ♡

飲ませるなんてっ♡

いい度胸だぁ——ひゃっ♡

やめっ、やめろっ♡

なにをするつもりなんだ!?

勝手にいつ、動くなっ♡

ん` おおっ♡` おおっ♡

腰を突き上げてっ♡

僕のおまんこを刺激するなぁっ♡

雑魚ちんぽは大人しく、

僕にされるがままにっ♡

しておけばいいんだっ♡

んゝ おおっ♡おっ♡

やめっ♡やっ♡

んううっ♡おおっ♡

んちゅうっ♡んうっ♡

ちゅっ♡んうっ♡

んじゅっ、ちゅうっ♡

ちゅうっ♡んじゅっ♡

くうっ♡んぐうっ♡

なんども僕を好き勝手できるとっ♡

思ふなあっ♡

んうゝ おっ♡

んひゃっ♡

僕を押さえつけてえっ♡

んおおっ♡おっ♡

どうするつもりなん、だっ♡

ん` おっ♡おおっ♡

やめろっ♡

お前が僕の上にいるなんて、

認め、ないぞっ♡

んじゅううっ♡んううっ♡

ちゅううっ♡んっ♡

やめっ♡んじゅっ♡

何度もキスするなっ♡

ゝ おっ♡んゝ おっ

ちんぽがっ、奥に激しくっ♡

んうっ♡ゝ おおっ♡

ゝ おおっ♡んうっ♡

これダメなやつっ♡

こんなきもちいなんてっ、

知らないっ♡

おまんこ壊れるっ♡

デカちんぽでおまんこ壊されるっ♡

んおっ♡おおっ♡

んうっ♡おっ♡

やめっ♡やっ♡やあっ♡

おっ♡ おおっ♡

やだっ♡おまんこ壊れるっ♡

んうっ♡おおっ♡んおっ♡

ゝ おおっ♡おっ♡

んうっ♡

やめろおっ♡おっ♡

おまんこパンパンもうやめてくれっ♡

こんなの耐えれないっ♡

ゝ おっ♡んおおっ♡

雑魚じゃないっ♡

僕のおまんこはっ！

決して雑魚じゃないっ♡

んおおっ♡おっ♡

ぐうっ♡んぐっ♡

奥っ、ゴリゴリ刺激されてるっ♡

んうっ♡` おっ♡` おおっ♡

もう無理っ♡無理だからっ♡

これ以上雑魚ちんぽ動かすなっ♡

んあぁっ♡あんっ♡

くそおっ♡` おっ♡

僕のおまんこは雑魚なんかじゃっ♡

ないのにっ♡

お前の雑魚ちんぽでおかしくなるっ♡

んおっ♡おっ♡

雑魚まんこって言う、なっ♡

少しちんぽが大きいからといって、

図に乗るなよっ！

おっ♡ん` おおっ♡

お前、んうっ♡

少しは僕の言うことをっ♡

おおっ♡` おっ♡聞けえっ♡

もうやめろおっ♡

んおおっ♡おっ♡

ああんっ♡

やだっ♡認めないっ♡

僕のおまんこはっ♡

雑魚なんかじゃあっ♡

ゝ おおっ♡んおっ♡

おっ♡んうっ♡

認めるまでえっ、

おおっ♡犯し続ける、だっ♡

んおっ♡おおっ♡

クソっ！どこまでも舐めた態度だ、なあっ♡

おっ♡んゝ おおっ♡

無理っ♡もう無理っ♡

おまんこヒクヒクして耐えれないっ♡

頭っ♡ふわふわするっ♡

おっ♡ちんぽでおまんこかき回されるの辛いっ♡

変な感覚になるうっ♡

おまんこなんか変だっ♡

ゝ おっ♡んおっ♡

んお♡んうっ♡

頭チカチカするうっ♡

これ以上はだめっ♡

僕が僕じゃなくなるっ♡

騎士じゃいられなくなるうっ♡

ん` おおっ♡ごめんなさいっ♡

雑魚って認めるからパンパンやめてえっ♡

もうイクっ♡

おまんこイクっ♡

ごめんなさい♡ごめんなさいもうやめてえっ♡

イきたくないっ！おまんこイきたくないのおっ♡

` おおっ♡おっ♡

ごめんなさいっ♡ごめんなさいっ♡

僕は騎士でっ、いたいんだあっ♡

んうっ♡` おおっ♡んおっ♡

もう許してっ♡もう無理っ♡

おまんこ壊れちゃうからっ♡

孕めなくなるっ♡

んおおっ♡ おおっ♡おっ♡

おまんこがっ♡

セックス専用になってしまうっ♡

んうっ♡んおっ♡おっ♡

もうやめてっ♡やめてっ♡

おまんこ限界なんだっ♡

耐えられないっ♡

もう認めただろっ♡

これ以上雑魚おまんこじゅぼじゅぼやめてくれっ♡

僕のおまんこバカになるうっ♡

んあぁっ♡あっ♡

もう二度と言わないっ♡

お前のちんぽが雑魚とか二度と言わないっ♡

僕のおまんこっ♡

お前専用のしごき穴にしていっ♡

だから少し手加減してっ♡くれえっ♡

僕は初めてなんだっ♡

刺激がっ♡

刺激が強すぎておかしくなるうっ♡

んうっ♡んあぁっ♡

あっ♡あぁっ♡

ちんぽがビクビクしてるうっ♡

おまんこにいっぱい刺激きてるうっ♡

んおおっ♡ おっ♡ おおっ♡

イクっ♡イクっ♡

雑魚おまんこっ、

お前の強いちんぽにイカされるっ♡

ん おおっ♡おおっ♡

んおっ♡ おっ♡

ん おおおおっ♡

はあ……♡はあ……♡

これが……セックス……♡

雑魚だと思ってたちんぽに、

好き勝手にされてしまった。

騎士として、全く情けない話だ……♡

■Track05.ぎこちないご奉仕

もう果てて再起は無理か？

さっきはしてやられたが、

しばらく休息をとって、

僕はもう回復したぞ。

あんなに硬いちんぽだったのに、

今は見る影もないな。

出した後はそうなるのか？

なるほどな。

特に刺激がないと、しおれたままなのか

ちょうどいい、刺激をくれてやる。

あれだけ出されたが、

一度で孕む保証はない。

もう一度僕を犯せ。

お前専用のしごき穴に、

ザーメンを全部出しきれ。

はやくちんぽをバキバキにできるよう、

たくさん刺激を与えてやる。

僕を負かしたつよつよちんぽに、

奉仕してやる♡

敗者の務めだ♡

さっきはすごい責めだったが、

お前は受け身なのも好きだろ？

脳みそを溶かすくらい、

とっておきの奉仕をしよう♡

ふう、ふう♡

まずは耳から責めて、

とろけさせてやろう♡

んちゅうっ♡ちゅうっ♡

どうだ？

耳にキスされる感覚は？

ちゅ、んちゅっ♡

んじゅうっ♡んじゅっ♡

ちゅうっ♡ちゅっ♡

なんの生産性もない

ただの欲を満たすような行為で屈辱的だが、

僕は敗者だ♡

どんな屈辱でも受けて立とう♡

ちゅうっ♡んちゅっ♡

んうっ、れろおっ♡

ちゅ、ぺろぺろおっ♡

気持ち良いか？

負かせた女に耳を責められるのは。

優越感に浸っているのか？

んじゅ、ちゅうっ♡

じゅぞっ♡じゅぞおっ♡

んちゅううっ♡ちゅっ♡

不思議な感覚？

そうか、気持ち良さを感じれてるなら、

僕は敗者として責務を果たしているな♡

こっちの耳も平等にしてやる。

偏っているのは気持ち悪いだろ？

して欲しそうな顔をしているしな♡

ちゅううっ♡んちゅっ♡

じゅるうっ♡

んじゅ、じゅるうっ♡

ちゅっ、んちゅっ♡

右耳と左耳、両方を僕の唾液で犯されたな♡

しっかりマーキングしてやろう♡

ちゅううっ♡んじゅっ♡

じゅるうっ♡じゅぞっ♡

気持ち良さそうだな。

ちんぽがヒクヒクしているぞ♡

興奮してるんだな♡

個の行為は無駄だと思うが、

悪い気はしないな♡

ちゅうっ♡んじゅううっ♡

じゅうるうっ♡ちゅうっ♡

ちゅっ♡ちゅぱっ♡

んちゅうっ♡ちゅっ♡

そろそろちんぽを刺激して欲しいのか？

顔に書いてあるぞ♡

望み通り刺激してやる♡

敗者の僕は、勝者のお前に従うしかないからな♡

ふふ、ガチガチだな♡

まだ握っただけだぞ？

そんなにピクピクさせて、

よほど僕の手を欲していたようだな♡

しーこ♡しーこ♡しーこ♡

しこしこー♡

男はこうされると気持ち良くて、

どうにかなってしまうんだろ？

お前もそうか？

耳元で囁かれながら、

ちんぽしこしこされて、

情けない吐息が漏れてるぞ♡

しこ、しこ、しこ♡

しこしこ♡しこ♡

しこしこしこー♡

んうちゅううっ♡

じゅるうっ♡じゅぞっ♡

ちゅっ♡れろっ♡

ぺろぺろお♡

しこしこ♡

しこしこしこー♡

耳とちんぽを同時に責められるの、

そんなに気持ち良いか？

奉仕する身として、

これ以上ない達成感だ♡

んうちゅっ♡んじゅう♡

じゅるっ♡じゅぞおっ♡

いい気分だな、

奉仕相手が心地よさそうにしているのを、

近くで見れるのは♡

しこしこ♡しこしこ♡

しーこ、しこしこー♡

しこしこしこー♡

もっと気持ち良くなっていいぞ♡

じゅるうっ♡んちゅ♡

ちゅううっ♡じゅるっ♡

ちゅぱっ♡んちゅ♡

ちんぽに僕の手を感じて、

最大限気持ち良くなるといい♡

しこしこー♡しこしこ♡

しこ、しこ、しこ♡

しこ♡しこしこしこー♡

しこしこ♡しこ♡

ちんぽがいっぱいビクビクしてる♡

さすが僕を負かしたちんぽだ♡

どんどん大きくなっているっ♡

凶悪的な大きさを本当に。

これでおまんこを突かれたら、

誰だって負けてしまうだろうな。

今までこの大きいおちんぽで、

何人の女を泣かせて来たんだ？

ふっ。

僕にしか興味がないから、

女性経験はない？

どうだかな。

よく回る口だ♡

んうっちゅ♡んじゅ♡

じゅぞお♡ちゅう♡

じゅる♡じゅぞお♡

ちゅう♡ちゅ♡ちゅば♡

かっこをつけて口説こうとしても、

耳を舐められて情けない姿がバレてるぞ♡

ちゅうっ♡んちゅ♡

ちゅぱっ♡ちゅっ♡ちゅぱっ♡

じゅるっ♡んちゅうっ♡

ザーメン出したそうだな♡

必死にちんぽビクビクさせて、

限界か？

さっきは散々好き放題されたからな、

少しだけいじわるしてやる。

お前、こういうのも好きなんだろ？

んちゅうっ♡

ちゅ、ちゅぱっ♡

んちゅううっ♡

勝者の性癖に併せて奉仕する。

これも敗者として当然だ♡

ちゅううっ♡んちゅっ♡

ちゅっ♡んじゅっ♡

じゅるっ♡んちゅううっ♡

耳はもう十分いじったな。

本格的にちんぽに奉仕してやる♡

お前の耳を気持ち良くしたこの口で、

いっぱいちんぽも舐めまわしてやる♡

僕の唾液でちんぽにマーキングされるんだ、

嬉しいだろ？

ちんぽが素直に喜んでるぞ♡

節操のないちんぽだな♡

プライドとかもないのか？

女にここまでされてよろこぶなど、

騎士の風上にもおけない男だ♡

なんだと？

僕の方こそ騎士の風上におけないだと？

いいか？

あれは偶然だ。

慣れていなかったし、

お前のちんぽが想定より大きいのが悪い。

一度は敗北を認めたが、

二度とああはいかん。

騎士として誇りがあるからな。

それを証明するためにも、

お前のちんぽをさっきよりガチガチにしてやる。

僕の献身的な奉仕でな♡

すんすん♡

とっても醜惡なオスの臭いだ♡

こんなもので僕は……♡

ちゅっ♡んちゅっ♡

とっても屈辱だ♡

たった一度の敗北で、

こんな下劣なモノに、

キスをするなんてな♡

まったく、由々しき事態だな♡

んちゅっ♡ちゅっ♡

ちゅっ♡ちゅうっ♡

ちゅぱっ♡

んちゅっ♡

ちんぽをびくびくさせるな。

キスしづらいだろ♡

ちゅっ♡ちゅーっ♡

んちゅっ♡ちゅう♡

ちゅっ♡ちゅぱっ♡

ちゅううっ♡

ちんぽにキスされるの気に入ったか？

ちゅっ♡んちゅっ♡

んちゅっ、ちゅぱっ♡

ちんぽの血管が、

すごく浮き出てたくましいな♡

んちゅ♡ちゅっ♡

ちゅぱっ♡ちゅっ♡

ちゅ、ちゅっ♡ちゅーっ♡

血管バキバキちんぽ、

グロテスクなのに、

無意識でキスしてしまうっ♡

ちゅ♡んちゅ♡

すう、はああ……♡

匂いきっつ♡

どんどんお前のちんぽが僕を孕ませようと、

たっぷりの孕ませ汁を先走らせているぞ♡

堪え性のないちんぽだな、

先走りと言えどザーメンだ。

このまま垂れてはもったいないだろ♡

ああむっ♡んじゅううっ♡

んううっ♡

あご外れるう♡

デカすぎるだろっ♡

んうじゅっ♡じゅるううっ♡

ちゅうっ♡んじゅっ♡

じゅぞっ♡

濃いオス臭が、

口の中に遠慮なく広がってきているっ♡

気分の悪くなる醜悪な臭いだな♡

んうちゅっ♡じゅぞっ♡

ちゅううっ♡んじゅっ♡

じゅるっ♡

僕のような優れた騎士じゃなければ、

泣いて逃げ出すような状況だぞ♡

んじゅっ♡

僕は根性がある敗者だから、

こんな状況も問題ないがな♡

じゅるうっ♡ちゅうっ♡

んちゅっ♡んじゅうっ♡

じゅぞっ♡じゅるっ♡

僕の口は気持ち良いか？

ちゅうっ♡んじゅううっ♡

じゅるうっ♡じゅぞっ♡じゅるっ♡

ちゅっ♡んちゅううっ♡

んじゅっ♡じゅぞおっ♡

玉も揉みながらっ♡

念入りに……♡

んじゅううっ♡じゅるっ♡

じゅぞおっ♡じゅるっ♡

どんどん玉でザーメンが作られてるな♡

激しく脈を打って、すごく熱い♡

じゅるうっ♡んじゅっ♡

じゅぞっ♡じゅるうっ♡

こんなに不愉快なものをしゃぶるなんて、

普通はしないぞ。分かってるな？

負けたからしてるだけだっ♡

んじゅううっ♡

じゅぞっ♡じゅるうっ♡

んじゅっ♡んちゅうっ♡

ちゅっ♡じゅぞっ♡

自ら好んでこんなものをしゃぶるわけないだろ♡

んじゅっ♡

誉れある騎士の僕が、

ためらいなくオスの股座に、

顔を突っ込むわけないからな♡

じゅるっ♡んちゅっ♡

じゅぞおっ♡じゅるっ♡

ちゅううっ♡んちゅっ♡

じゅるっ♡んじゅううっ♡

嬉しそうに舐めてるだと？

バカ言うな♡

そんなわけないだろ♡

こんなにもまずい物体を口にいれて、

喜ぶ人間などいない♡

お前の目は節穴か？

んうっ♡じゅるうっ♡

ちゅうっ♡んちゅうっ♡

じゅるっ♡ちゅっ♡

じゅぞっ♡じゅぞぞおっ♡

んうっ♡ちんぽでかっ♡

どんどんでかくなるっ♡

息くるしいっ♡

こんなにビクビクして♡

もう限界か？

出せっ♡ザーメンお漏らししろっ♡

遠慮なんていないぞ♡

んじゅううっ♡じゅぞっ♡

じゅるっ♡んじゅううっ♡

じゅぞおっ♡んじゅっ♡

出せっ♡出せっ♡

敗者の口まんこに、

たっぷりのザーメン飲ませて、

敗北の屈辱を味わわせろおっ♡

んぶうっ♡んうっ♡

ぐっ♡んぐうっ♡

んっ、んっ♡んうっ♡

ぷはっ♡

出しすぎだろ♡

こんな濃いザーメン出すなら、

おまんこに出させれば良かった……。

せっかく孕めたかも知れないのに、

僕としたことがぬかった……。

一生の不覚だ。

だが、お前のザーメンだ。

何度出しても、これくらいは出るんじゃないか？

さっき濃いのを中に出されているし、

もう孕んでいる気もする。

だが念には念を、だ。

さっきのリベンジもしたいしな。

一度は敗北を期したが、

次はお前のちんぽを、

完膚なきまでに倒してやる♡

覚悟することだな。

絶対に次は勝つ！

この僕がお前より優れていることを、

一生消えない快樂として体に刻み込んでやる♡

■Track06.中出し孕ませ懇願メス堕ちセックス

さぁ抱け♡

リベンジだ♡

思う存分お前の気が済むまで、

僕のおまんこを突け♡

さっきのようにみじめな姿は、

二度と晒さないがな。

お前の凶悪な巨大ちんぽに難なく耐えて、

逆にお前のちんぽを骨抜きにしてやる♡

僕のおまんこで、しっかり搾ってやるからな。

覚悟してセックスしろ♡

気持ち良くなるためだけのセックスなんて、

求めていないからな。

ちゃんと孕ませろよ？

お前の特濃ザーメンを奥に注げ♡

んっ♡

焦らすつもりか？

んうっ♡んっ♡

ちんぽがおまんこに当たってっ♡

んあんっ♡

別に？余裕だが？

お前がどんな手法を使おうが、

僕のおまんこは二度と、

お前の思うままにイかないからな♡

んあっ♡んうっ♡

亀頭がっ、おまんこの入口にっ♡

キスするみたいに当たってるっ♡

んうっ♡あんっ♡

あっ♡んうっ♡

感じてなんか、ないっ♡

この僕がそう何度も、

お前のちんぽによがるわけっ♡

んっ♡あっ♡

ないだろおっ♡

気持ち良くなんかつ、ないっ♡

んっ♡んうっ♡

とまでは、言わないがっ♡

感じてはいないっ♡

んうっ♡んっ♡

お前のちんぽはもう慣れたぞ♡

じっくり口で舐めて、

硬さの限度も把握したし、

怯えることはないっ♡

んうっ♡あんっ♡

あっ♡

入ってきたあ♡

ゆっくりちんぽの先だけでっ♡

おまんこの入口じゅぼじゅぼされてるっ♡

んあっ♡あんっ♡あっ♡

感じてないけどっ♡きもちっ♡

んうっ♡んっ♡

おまんこがっ♡亀頭を欲して、

ひくひくしちゃうっ♡

んうっ♡見るなっ♡

ひくひくしてる様子の実況なんてっ♡

やめろっ♡

んうっ♡んっ♡

恥ずかしいだろっ♡

お前、鬼畜か♡

ぐうっ♡んうっ♡

こんな辱め、

絶対に屈しないっ♡

あっ♡んうっ♡

んあんっ♡あぁっ♡

やめっ♡これ以上焦らすなっ♡

んあっ♡あぁんっ♡

おまんこの入口っ♡

執拗にいじるのやめろっ♡

おかしい感覚になるっ♡

んうっ♡んあっ♡あんっ♡

ああんっ♡

これだめっ♡気持ち良いっ♡

カリで入口削られてるっ♡

んああ♡あっ♡

んくうっ♡んあっ♡

ちんぽ来たっ♡

おまんこにゆっくりちんぽがあっ♡

あぁっ♡んあっ♡あんっ♡

んあっ♡

抜いてしまうのか？

まだ半分しか入ってないぞっ♡

んうっ♡あんっ♡

また来たっ♡

ちんぽ半分でじゅぼじゅぼされるっ♡

んあぁっ♡あんっ♡

ちんぽまだ全部入ってないのにっ♡

おまんこ占領されてるっ♡

んうっ♡おっ♡

ちんぽデカすぎだろっ♡

んあぁっ♡あんっ♡

さっきよりデカくないかっ？

あっ♡んうっ♡

んあぁっ♡あんっ♡

あんっ♡

ゆっくり動いてるだけなのになっ♡

おまんこがジンジンするっ♡

んうっ♡あんっ♡

ま、まあ……？

感じて、はっ♡

ないがなっ！

んあっ♡あっ♡

んうっ♡どんどん奥にっ♡

んおっ♡おっ♡

おっ♡奥まできたあっ♡

んあっ♡あっ♡あんっ♡

あぁっ♡あんっ♡

んうっ♡んあっ♡

奥っ♡奥にちんぽ当たってるっ♡

亀頭で子宮刺激されてるうっ♡

んあぁっ♡あんっ♡

あぁんっ♡あっ♡

ダメえっ♡これキツいっ♡

感じないわけないやつうっ♡

ん` おおっ♡

` おっ♡んううっ♡

急に激しっ♡

ちょっと待てっ♡

んうっ♡ おおっ♡

おっ♡ん おおっ♡

激しいのやめ、ろおっ♡

ん おお♡んうっ♡

お おおっ♡んおっ♡

もうダメっ♡

取り繕うのも無理だっ♡

我慢できないっ♡

おまんこがちゃんぽ求めてるっ♡

んあっ♡ああんっ♡んうっ♡

ゝ おおっ♡おっ♡

おおっ♡それ気持ち良いっ♡

おまんこゴリゴリ気持ち良いっ♡

んうっ♡んっ♡

これ絶対孕むやつっ♡

こんなに激しいセックスっ♡

絶対孕むっ♡

んゝ おっ♡ゝ おお♡

ゝ おっ♡

孕ませてくれっ♡

お前の赤ちゃん産みたいっ♡

んうっ♡おおっ♡んうっ♡

おほっ♡ おおっ♡

んぐうっ♡

おまんこイグっ♡

ちんぽでゴリゴリ削られてっ、

おまんこイグっ♡

つよつよちんぽに削られてっ♡

まんこイクっ♡

ちんぽより先にイクっ♡

んぐうううっ♡

はあはあ……。

ああんっ♡

んうっ♡

待てっ♡

いったばかりだぞ！

お前っ♡人の心とかあっ♡

ない、のかっ♡

んぐうっ♡ おっ♡

ゝ おおっ♡んうっ♡

な、なにを言ってるんだ！

いき狂う僕が可愛いだっ♡

んぐうっ♡んっ♡

ふ、ふざけるな♡

そんなことを言われても、

嬉しくなんてえっ♡

んうっ♡んあっ♡

ぐうっ♡んう♡

分かったっ♡分かったからっ♡

お前のちんぽがいくまでっ♡

我慢してやるっ♡

いくまでだからな！

んぐっ♡んうっ♡ おっ♡

おまんこがジンジンして、

頭がおかしくなりそうだがっ♡

僕は騎士だ！

これくらいの快樂っ♡

んうっ♡ おっ♡

難なく耐えてやるうっ♡

んぐうっ♡んうっ♡

ちんぽから伝わってきてるぞ、

そろそろイきそうなんだろ？

おまんこの中で、

ちんぽがビクビクして、

イきそうだってアピールしてるからな♡

んぐっ♡んっ♡

ゝ おっ♡んお♡

必死に腰振ってっ♡

遠慮なく出せ♡

んぐっ♡ゝ おおっ♡んう♡

さっきより激しくうっ♡

んうっ♡ゝ おおっ♡

おおっ♡んゝ おっ♡

んぐううっ♡

出てるうっ♡

おまんこにいっぱいザーメン出てるうっ♡

熱いのいっぱい流れてるっ♡

んぐうっ♡んうっ♡

ゝ おっ♡んおおっ♡

絶対孕んだっ♡

これ赤ちゃん出来てるやつ♡

はあ……はあ……♡

こんなに出したら、

お前ももう満足だろ？

はやくそのちんぽを抜いてくれ。

あ。でもザーメンがこぼれないように、

慎重に頼むぞ。

せっかくこんなに出されたのに、

こぼれたらもったいないからな。

一滴も無駄にするわけにはいかな……。

いいっ♡

お、お前！な、なんでっ♡

んぐうっ♡抜けっ♡

僕は抜けって言ったんだっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

ピストンしろなんて、

一言もおっ♡言っていないっ♡

ぐうっ♡んうっ♡ おっ♡

んぐっ♡深いところっ♡

ちんぽでボコボコに殴られてっ♡

んゝ おっ♡ゝ おおっ♡

頭おかしくなるっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

ゝ おっ♡んゝ おおっ♡

もう少しゆっくりっ♡

んぶうっ♡んじゅっ♡

んうっ♡んちゅうっ♡

ぶはっ♡

キスっ♡やめっ♡

んううっ♡じゅるっ♡

じゅぞっ♡じゅるうっ♡

んぐうっ♡

何も考えられなくなるっ♡

おまんこ突かれながらキスされてっ♡

もうお前以外っ、考えられなくなるっ♡

頭がお前に支配されてしまううっ♡

んゝ おお♡おっ♡

んうっ♡んぐううっ♡

ゝ おっ♡んぐっ♡

ぎもちいいっ♡

おちんぽぎもちいいっ♡

押さえつけられながらっ♡

ちんぽで子宮殴られるのすきっ♡

力強いピストン好きいつ♡

ぐうっ♡んゝ おおっ♡

んうっ♡ゝ おっ♡

好きっ♡

種付けプレスっ♡好きっ♡

癖になっちゃううっ♡

んぐうっ♡ぐっ♡ゝ おおっ♡

んううっ♡

おまんこ敏感になりすぎてっ♡

もうわけわかんないっ♡

んぐうっ♡ゝ おおっ♡

んうっ♡

ぎもちいいっ♡

おまんこがちんぽ離したくなくてっ♡

いっぱい締めちゃううっ♡

ぎもちいい♡セックスたのしいっ♡

んぐうっ♡おおっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

おまんこぎもちいいっ♡

ちんぽもっと欲しいっ♡

んぐうっ♡んっ♡

おまんこ勝手に締まっちゃううっ♡

ちんぽに気持ち良くなってもらいたいって、

思っちゃってるっ♡

ん` おおっ♡` おおっ♡

おおっ♡んうっ♡

お` っ♡メスになっでるっ♡

おまんこがもうちんぽに媚びる、

メスになっでるっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

もう騎士じゃなくていいっ♡

お前の……。

いや、旦那様の女がいいっ♡

一生旦那様といるっ♡

ずっとセックスするっ♡

んうっ♡ おっ♡んおおっ♡

ぎもぢいっ♡

おまんこ幸せっ♡

旦那様のちんぽで、

おまんこ幸せになってるうっ♡

ぐうっ♡んうっ♡

ぎもぢいっ♡好きっ♡

旦那様すきっ♡

僕も所詮メスだったあっ♡

強いちんぽに抗えないっ、

欲にまみれたメス穴だったあっ♡

ぐうっ♡ん おおっ♡

おほおっ♡

出てるっ♡

旦那様のザーメン出てるっ♡

んぐっ♡ おっ♡

出てるのにっ♡

出てる最中なのにいっ♡

ちんぽじゅぽじゅぽ止まらないっ♡

すごっ♡

絶対孕むっ♡

旦那様のザーメンで、

赤ちゃん孕むっ♡

ん おっ♡ おおっ♡

んぐうっ♡

もっ♡

旦那様もっ♡

もっ♡ っぱいザーメンを、

子宮の奥に注いで♡

んうっ♡おっ♡

ぐうっ♡ おっ♡

好き♡

大好きなご主人様のちんぽで♡

おまんこくうっ♡

ぐうっ♡ん おおっ♡

♡ おっ♡

ぎもちいっ♡頭おかしくなるうっ♡

おまんこ壊れるっ♡

ぐうっ♡んうおおっ♡

たくましい旦那様のちんぽおおっ♡

ビクビクっておまんこの中で脈打ってるうっ♡

気持ち良いいっ♡

またザーメン出してくれるのか♡

ぐうっ♡んおおっ♡ おおおっ♡

ゝ おおおっ♡んうっ♡

イクっ♡おまんこイクう♡

イっちゃうう♡

旦那様のちんぽでゴリゴリおまんこ削られて、

おまんこイっちゃうっ♡

ゝ おっ♡んゝ おお♡

気持ち良いっ♡

おまんこイクっ！イきますっ♡

ぐっ、んううっ♡

はあ……はあ……♡

んっ♡

旦那様のザーメン、中にいっぱい出てる♡

同じタイミングでイクなんて、

相性ぴったりだな♡

僕たちはいい夫婦になれそうだ♡

なんだ？僕が妻だと不服なのか？

毎晩、疲れた体を癒してやる♡

たっぷりイチャイチャできるんだぞ♡

僕はもう旦那様のモノなんだ♡

遠慮なく抱いてくれ♡

いっぱい孕んで、いっぱい産むからな♡

幸せな家庭を築こうじゃないか♡